



第49回 おりひめの会

更年期にかける「私」の想い

～ まゆみ先生を囲んで～



5月11日(水)14時、春日クリニック3階はるかぜホールにて「第49回おりひめの会」が開催されました。大きな節目の50回を目前に、過去のおりひめの会を振り返り、参加者全員で想いを語り合った今回。発足当時から12年間変わらぬ想いと、新しい取り組みを取材しました。

おりひめの会発足

1999年7月7日。更年期に悩む多くの女性のために、おりひめの会は発足しました。

12年前は、今のように更年期の情報があふれていた時代ではありません。自分の病状が何かも分からず苦しむ女性が数多くいました。女性にもっと更年期について知ってもらいたい。同じ悩みを持つ人と語り合い、日々笑顔でその人らしく生活できるための場を提供したい。このような清田院長の熱い思いが発足を実現させたのです。

おりひめの会ではこの12年間、その時々で一番知ってもらいたいホットなテーマを選び取り上げてきました。



(旧クリニックでのおりひめの会)



これまでの軌跡

今までの振り返りから始まった第49回おりひめの会。発足当時は片手で数えられるほどの参加者であったおりひめの会も、いつしか40人が入る研修室からはみ出すほどになりました。左下に抜粋してある通り、更年期女性のみを対象としていた会も、「更年期女性と共に生活する男性」も参加するようになり、テーマも更年期から「介護」「老後」「豊かな人生」「幸せな最期」と幅広く大きくなりました。しかし、「日々笑顔でその人らしく生活する」という根底にある想いは変わりません。

おりひめの会は発足して7年は2カ月に1回のペースで開催されていましたが、更年期への活動が全国的に広がるにつれ、テレビ講演や学会発表など、対外的な講演活動が急激に増えました。厚生労働省に提言をしたり、国際セミナーに参加するなどその活動は多岐にわたります。

清田院長は講演の中で会を重ねるごとに進歩するおりひめの会を振り返り、第50回からの新しい取り組みに更なる意欲を見せました。

- 第1回 更年期におこる体の不調
- 第3回 人生80年の生き方
～男の役割 女の役割～
- 第14回 知りたい!女性ホルモン
- 第16回 熊本ウィメンズ
ヘルスセミナー」に共催
- 第22回 更年期医療は心のケア～
テレビ放映から見てきたもの
- 第28回 いま話題の女性専用外来
・性差医療とは
- 第30回 夫婦を語ろう!
更年期～人生二人三脚
- 第36回 語り合いませんか?
介護のこと
- 第46回 豊かな年を重ねるために
今なすべきこと

「私」の想いを語る

会を重ねるごとに少しずつ人数も増え、講義形式のおりひめの会が多くなっていましたが、今回は原点回帰、参加者とのディスカッションを行いました。

「実親の介護でストレスがたまるが、話すことでスッキリした」「更年期に悩んでいたが、話を聞いて自分だけじゃない、殻に閉じこもっていた心がぱっと晴れた」など笑いあり、涙ありの想いが語られました。

清田院長は先月発表した学会誌の中で更年期に必要な姿勢として「頼む」「許す」「学ぶ」という3つを挙げています。苦しい時に他人に頼む勇気、完全ではない自分を許す心、親や他者から学ぶこれからの人生。今後の新しいおりひめのテーマとして、皆さんと共に語り合いながら深めていきたいと考えています。



おりひめの会実行委員会 発足！

開催50回を迎えようとしているおりひめの会。新しい取り組みの1つとして今回、院内の有志を募り、「おりひめの会実行委員会」が発足されました。



- (委員長) 清田真由美 院長
 (副委員長) 伊原由紀 師長
 平山園子 係長
 (アドバイザー) 清田武俊 理事長

会の計画的実施や、企画運営など全般にわたって実行委員が協力して行います。

これまで以上に結束力の増したおりひめの会にご期待ください！

第50回 新 おりひめの会 (仮)男と女の更年期

日 時 平成23年7月6日(水)

時 間 午後2時 ~ 4時

会 場 春日クリニック3階 はるかぜホール

参加人数 先着30名

参加費 無料

参加ご希望の方は

スタッフまでお申し出ください。

